

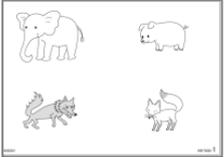
3歳児クラス 2月 第2回 「ぶたのたね」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：絵本を提示「オオカミさん何してるのかな？」 「なにになに？『一度でいいからブタの丸焼きを食べてみたい』だって…オオカミさん何をする気かな？」などとお話に興味を持たせてからお話を始める。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「ドスンドスン」「ユッサユッサ」「ポトンポトン」など、動物たちの動きを表現する場面は、声の強弱をつけコミカルに読み進める。 ②オオカミとキツネ博士の会話の場面は、声色をそれぞれ変えて読み、ストーリーをより理解できるよう工夫する。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒にしてお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	記憶	お話を思い出して、自信を持って正しいものに○ができる	
設問	先生のお話を聞いて、合う絵に指示された色のクレヨンで○をしましょう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「いつもは怖いオオカミさん。ブタさんが食べられちゃうのはかわいそうだけど、ちょっとだけお気の毒なオオカミさんだったね」 保：「今日もお手紙が届いてますよ」とプリントの入った封筒提示。 			P 1 ★クレヨン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「今日もクイズが入ってるよ」とプリント提示。「クイズにチャレンジしたい人！」と意欲を引出しプリント配布。クレヨンの準備を促す。プリントの中の絵を1つ1つ確認してから問題に入る。 問題①子ブタを食べようとしたけれど食べられなかったのは誰ですか。 黄緑のクレヨンで○をしましょう。(答え：オオカミ) ②薬を作ってくれたのは誰ですか。 紫のクレヨンで○をしましょう。(答え：キツネ) ③オオカミが育てて木になったのは何でしたか。 水色のクレヨンで○をしましょう。(答え：ブタ) ※色はクラスごとに認識が弱いと思われる色に変更可。 子：講師の出題を1問1問良く聞き、間違えても後で直せば良いことを理解して、自信を持って○をする。 講：皆で答え合わせ。正解にスタンプ又は花丸等で称賛。間違えたら○をし直せば良いことを伝え、自信を持って○ができたことへも称賛の言葉をかける。 ※この時期自分で考えることに自信を持たせていくことが大切です。 ※プリントを回収(又は机の前方など邪魔にならない場所を指示し移動)して<活動②>へと進む。 			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリントの入った封筒提示 プリント配布、準備のフォロー 色、問題の指示理解できない子のフォロー 称賛
	活動②	ねらい	描く	自分が欲しい木をイメージして描くことができる
設問	好きなものなる「木」を描きましょう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「オオカミさんはブタのなる木を育てたけど、みんなだったらどんな木がいい？」と問いかけてみる。 			P 2 ★クレヨン
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「今日は自分の欲しいもの、好きなものなる<木>を描いてみようか」と提案。プリントを配布する。 ※「好きなもの」は現実には木にならないもので構わない。なかなかイメージできない場合は「先生だったらね～」と見本に描いても良い。絵本の様に「え！そんなものも？」と微笑みたくなる様な発想でイメージを広げて進捗し、子どもの活動へと進める。 			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリント配布 子どもと一緒に楽しくイメージを

<ul style="list-style-type: none"> ・子：プリントを受け取り、自由な発想で描いていく。 ・講保：子どもが描いている間、個々にインタビュー。描いているものを聞いて、プリントの端に記入する。 ・講：状況を見て終了の合図。皆の絵を見せっこ（余裕があれば発表会）して称賛。「キツネの博士にお願いしてみようね」と期待を持たせて終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広げ欲しいものを考える ・ 描いているものをインタビューしプリントに記入する ・ 称賛
---	---

数チャレ	数	お皿の中のおはじきを「5個」にして動物の口に入れることができる	教材
設問	お皿の中のおはじきを「5個」にしてお腹空かせたお友だちにあげましょう		クマ袋 おはじき 皿
活動内容	・ 12月から繰り返してきたチャレンジ課題です。クラスや子どもの状況に合わせて難易度を変化させ、チャレンジしていきましょう。		保育士の役割 ・ おはじき提示 ・ 理解できない子のフォロー

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアタータイム	画面を揺らすなど、場面に合った見せ方の工夫を行ったか 活動①を意識しながら読んだか
活動① 記憶	色指示を的確に行えたか
活動② 描く	子ども達がイメージしやすいようにクラスに合わせた見本やアドバイスを取り入れることが出来たか
数チャレ	次学年を意識した指導を行えたか

楽習タイム♪

*** テーマ・興味 ***

種をまいてみよう

- 種を手の平に乗せてその形や色などまずは観察してみましょう。次に「いったいこの種はどんな形の葉っぱ？実？花？になるのかな？」と会話を弾ませイメージを膨らませてみましょう。
※一番興味を持つ瞬間かも知れません。
- 後は子どもの手で植えて、日々観察・水遣りのお世話ができれば最高です。
※実際は成長の期間が長いと子どもの興味は薄れます。カイワレ大根や二十日大根などは成長が早く実際に食べることもできるのでお勧めです。



土に触れるということは人の心の奥深いところを直す効果があると言われています。自然との触れ合いの大切さを知る意味でもぜひ体験させてみてください。

今月のえかきリズム

*** うさぎ ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

